

法律/コンプライアンス面から見た ライセンス管理の必要性

2012年11月8日

BSA | The Software Alliance

日本担当顧問

TMI総合法律事務所

弁護士 石原 修

目次

1. BSAとは
2. ソフトウェア・ライセンス管理の重要性
3. リスク予防/改善には何が必要か？
4. 違法コピー事例
5. 違法コピー発覚時の代償は？
6. 気をつけたい“誤解”と“落とし穴”
7. ソフトウェアライセンス管理のTips

1. BSAについて

- BSA概要
- BSAメンバー企業
- BSAの主な活動内容

BSA概要

BSA はソフトウェア市場の成長と
イノベーションのための環境整備を目的に、
世界80ヶ国で活動している
世界最大のソフトウェア業界団体

- 米国 1988年： 設立
- 日本 1992年： 活動開始
 - 1995年： 違法コピーホットライン開設
 - 2009年： 違法告発.com開設



ロバート W. ハリマン II
BSA会長 兼 CEO

BSAメンバー企業

- アドビシステムズ
- アジレント・テクノロジー
- アンシス
- アップル
- Aquafold
- ARM
- オートデスク
- AVEVA
- AVG
- ベントレー・システムズ
- CA Technologies
- シスコシステムズ
- CNC Software - Mastercam
- Dassault Systèmes SolidWorks Corporation
- インテル
- Intuit
- マカフィー
- マイクロソフト
- Minitab
- ビツニーボウズ
- プログレスソフトウェア
- PTC
- クエスト・ソフトウェア
- ロゼッタストーン
- シーメンスPLMソフトウェア
- サイベース
- シマンテック
- The MathWorks
- テクラ

(2012年10月現在 : アルファベット順)

BSAの主な活動内容

□ 教育啓発

知的財産に関する意識の向上およびユーザーの問題解決を支援

- ・ 意識啓発Webサイト（BSA日本語サイト、P-SAMポータル、C-SAMポータル）
- ・ セミナー企画・実施
- ・ eラーニングサービス
- ・ ライセンス/ソフトウェア資産管理に関する講師派遣
- ・ SAM関連資料等の提供

□ 政策提言

知的財産の創造・保護・活用を促す環境づくりに貢献

- ・ 関係省庁との意見交換
- ・ 関連団体との意見交換
- ・ パブリックコメント等の提出

□ 権利保護支援

ホットラインに寄せられた違法コピー情報の収集・調査・分析を通じ権利者の保護を支援

- ・ BSAホットライン設置
- ・ 権利執行支援
- ・ 刑事事件の捜査協力
- ・ Yahoo!オークション知的財産権保護プログラム
- ・ オークションパトロール

2. ソフトウェア・ライセンス管理の重要性

- ソフトウェアの特徴
- ソフトウェア・ライセンスとは何か？
- ソフトウェア管理を漫然と放置した場合のリスク
- 個人情報漏洩事件数 2011
- 個人情報漏洩の損害

ソフトウェアの特徴

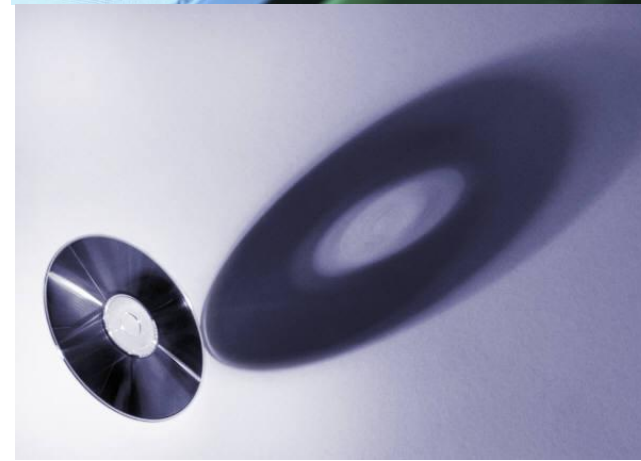
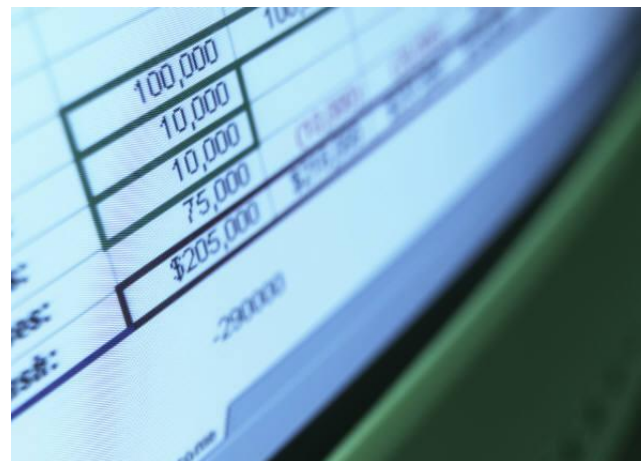
著作権で
保護

目に見えない
無形資産

ウィルスの
存在

業務効率が
大幅に向上

ビジネスインフラとして
不可欠な存在

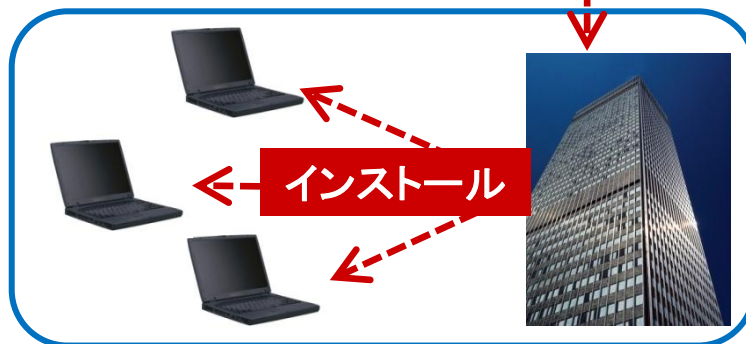


ソフトウェア・ライセンスとは何か？

開発者(ソフトウェアメーカー等)



利用許諾 / ライセンス



- ライセンスはソフトウェアを利用して良いという“権利”
- 「利用許諾契約書」等で利用範囲等が明示されている
- インストール可能数や使い方、試用期間等の制限はメーカー、製品種別、購入形態(パッケージ、ダウンロード、ライセンス・プログラム)等により異なる

利用許諾契約の内容は千差万別

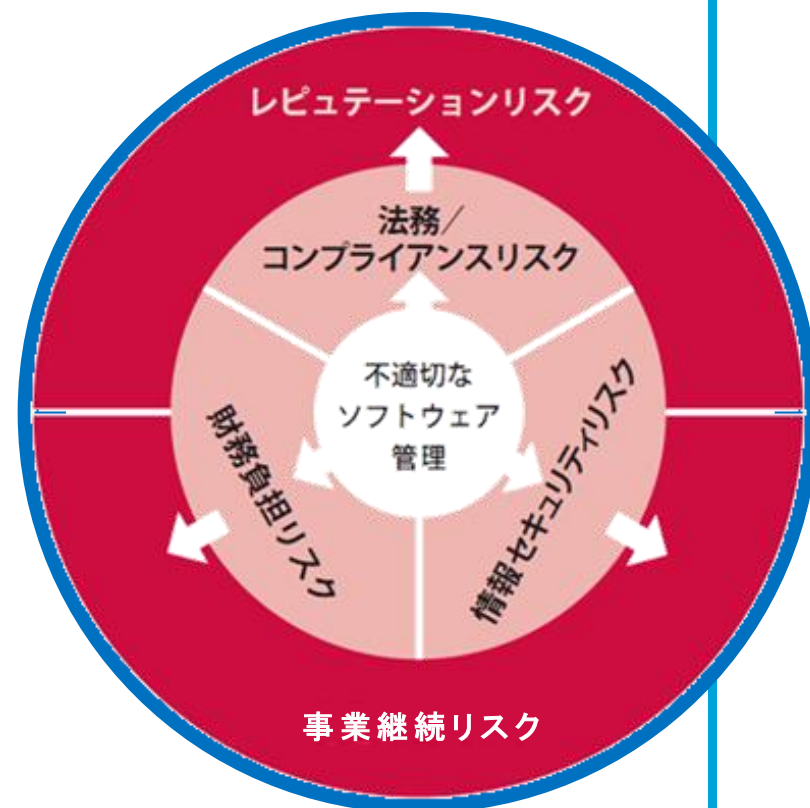
ソフトウェア管理を漫然と放置した場合のリスク

□ 一次リスク

- 法務/コンプライアンスリスク
 - » 違法コピー発覚時の賠償請求
 - » 刑事罰
- 情報セキュリティリスク
 - » ウィルス、スパイウェアの混在
 - » Winny、Share+ウイルス
- 財務負担リスク
 - » 予期しない追加購入等

□ 二次リスク

- レピュテーションリスク
 - » マスコミ報道等で被害拡大
- 事業継続リスク
 - » 顧客離れや取引停止等



管理不在のリスクイメージ

違法コピー発覚時のリスクは広範かつ連鎖する虞れ

2011年の個人情報漏洩事件数

1551



表面化しているのは氷山の一角
企業・組織における大きなリスク要因

日本ネットワークセキュリティ協会 2011年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書～個人情報漏えい編～

漏えい人数

628万4363人

想定損害賠償総額

1899億7379万円

コンプライアンス体制不備の漫然放置による代表取締役の個人責任

1. コンピュータスクールの教室に設置された複数のPCに違法コピーがなされていた事件で、大阪地裁は、代表取締役に「職務上、自己又はその従業員をして、プログラムの違法複製を行なわないように注意すべき義務」を認めただうえで、①従業員の違法コピーを漫然と放置したこと、②違法コピーの防止に関する管理体制が不備であったこと、など、重過失を認定し、会社の他、代表取締役個人の責任（旧商法266条の3）を認めた
（コンピュータスクール事件 大阪地裁平成15年10月23日）
2. 出版社が週刊誌に名誉毀損記事を掲載した事件で、東京地裁は、「代表取締役に権利侵害を防ぐ義務があるのに、研修や記事のチェック体制などを整えておらず、重大な過失がある」として、会社の他、代表取締役個人の責任を認めた
（貴乃花VS週刊新潮名誉毀損事件 東京地裁平成21年2月4日
但し控訴審で代表取締役の個人責任については否定）

第三者責任 新会社法429条1項 (旧商法266条の3)とは

「役員等がその職務を行うについて**悪意又は重大な過失**があったときは、当該役員等は、これによって第三者に生じた損害を賠償する責任を負う」

平取締役・監査役も、「役員等」に含まれます(新会社法423条1項 監査役につき旧商法280条)。

会社に対しては軽過失でも責任

取締役及び監査役は、会社に対し善管注意義務を負っている

したがって、会社に対しては、軽過失でも責任を負う

会社に対する責任は、株主代表訴訟の対象にもなる

3. リスク予防/改善には何が必要か？

- 徹底した意識改革
- 全社的な現状把握
- 定期的なレビュー

徹底した意識改革

リスク管理は徹底したいが、ソフトウェアは“目に見えず”
管理が容易ではない。管理徹底には強い意志・改革が必要。

必要なライセンスは保有しているのか？

ライセンスがあると証明できるのか？

台帳は整備されているのか？

どのPCに何がインストールされているのか？

どこに何台のPCがあるのか？



ツールで調査できないスタンドアロンPCは、台帳に反映されていたでしょうか？

全組織的な取組みと位置づけ、
部門横断的な組織を設置し管理を徹底する！

全社的な現状把握

全PCを対象とした機関内監査（全数棚卸）が必要

1. 管理方針・規程の整備	場当たりの対応を予防するため、管理方針・規程を整備
2. 管理体制の整備	適切かつ効率的な管理のため、管理、教育、監査のそれぞれの体制を整備
3. 導入ソフトの把握	組織（企業/自治体等）が所有する全PC・全ソフトを対象とする
4. 所有ライセンスの把握	資産であるライセンスを把握・管理
5. 台帳を整備し差分算出	インストール状況と所有ライセンスの過不足把握のため台帳を作成する
6. ライセンス不足是正	不足がなくなって初めて法的なリスクがなくなったと言える

メーカーとの間でライセンス数の認識に関して、齟齬がないよう事前の相談が重要

定期的なレビュー

1. 管理方針・規程の整備

場当たりの対応を予防するため、管理方針・規程を整備

2. 管理体制の整備

適切かつ効率的な管理のため、管理、教育、監査のそれぞれの体制を整備

3. 導入ソフトの把握

組織(企業/自治体等)が所有する全PC・全ソフトを対象とする

4. 所有ライセンスの把握

資産であるライセンスを把握・管理

5. 台帳を整備し差分算出

インストール状況と所有ライセンスの過不足把握のため台帳を作成する

6. ライセンス不足是正

不足がなくなって初めて法的なリスクがなくなったと言える

7. 定期的なレビュー

4半期に1度、最低でも年に1度の割合でレビューを行い台帳を更新

適正な状態を保つため定期的なレビューが必要

4. 違法コピー事例

- 民事訴訟例
- 和解例
- きっかけは情報提供

民事訴訟例（損害賠償）

著作権侵害に関する判例（ビジネスソフトの場合）

司法試験予備校事件

約8,500万円



東京地方裁判所
平成13年5月16日判決

コンピュータスクール事件

約4,000万円



大阪地方裁判所
平成15年10月23日判決

和解例（損害賠償）

違法コピーの代償（財務的負担）が、
企業経営（組織運営）を大きく圧迫

■ 著作権侵害に関する判例（ビジネスソフトの場合）

#	損害賠償金額	種別
1	4億4,000万円	企業
2	3億1,500万円	企業
3	2億5,000万円	企業
4	2億1,000万円	学校法人
5	1億9,000万円	企業

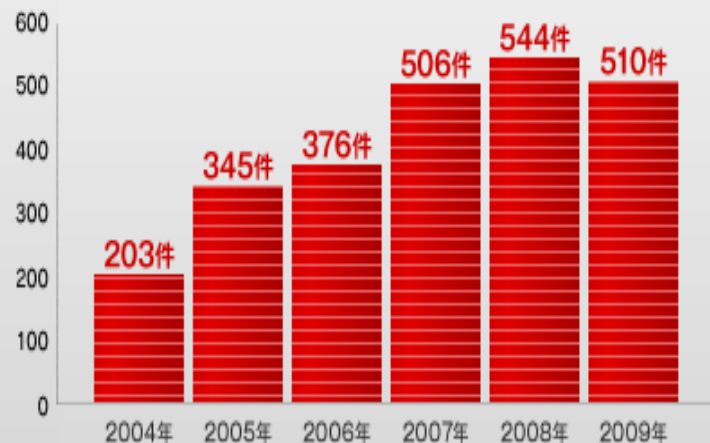
きっかけは情報提供から

BSAには組織内違法コピーに関する情報が
年間500件前後寄せられている

BSAの情報提供窓口
(WEB)

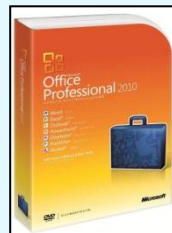


グラフ1 通報件数の推移



5. 違法コピー発覚時の代償は？

万引き(窃盗)



違法コピー



行為者

懲役： 10年以下
罰金： **50万円**以下

懲役： 10年以下
罰金： **1,000万円**以下
※併科可



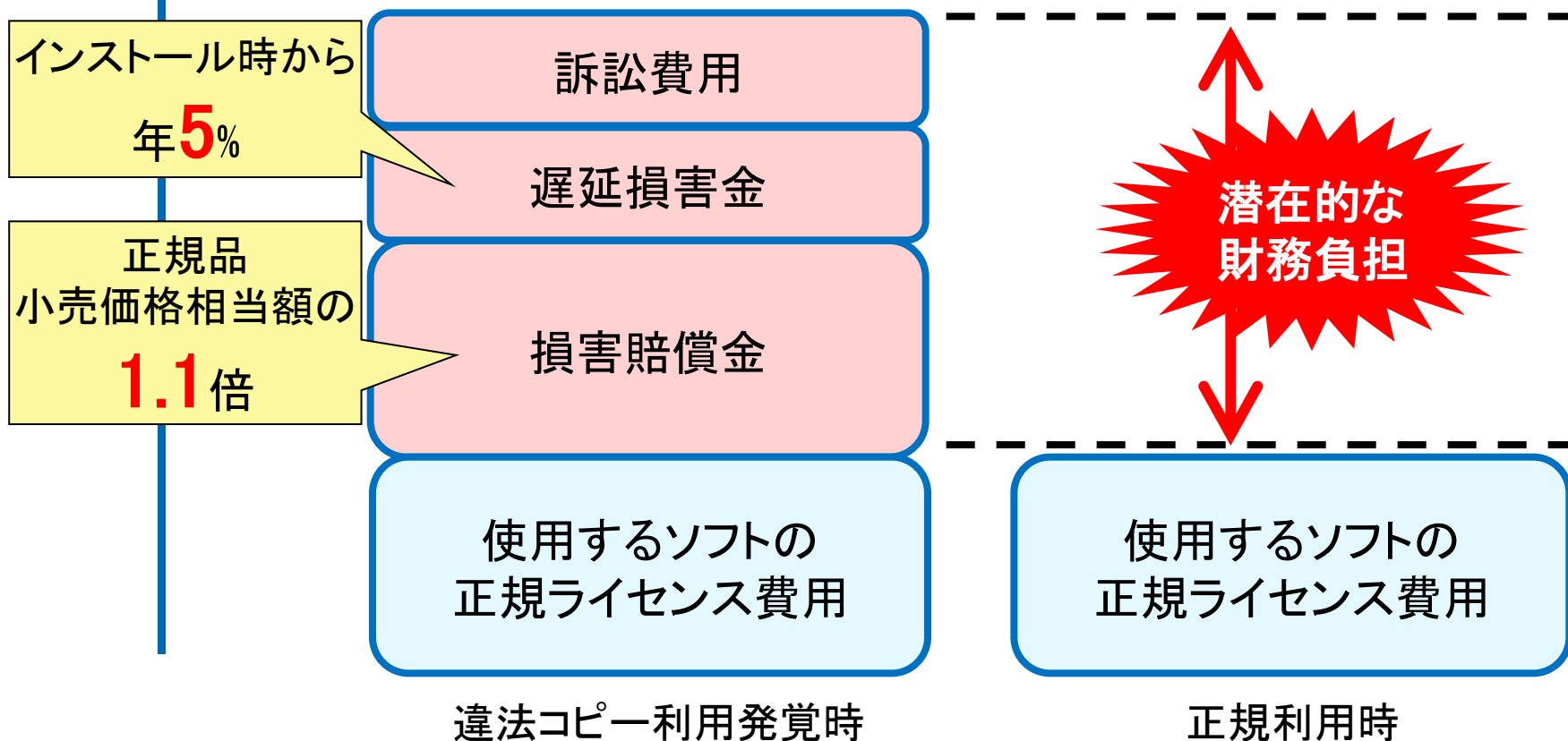
企業
/自治体

社員/職員が組織(会社/自治体等)のために盗んでも会社に刑罰は科されない

罰金： **3億円**以下

法務/財務負担リスク (民事 / 損害賠償額)

損害賠償金額の算出



民事訴訟例 (損害賠償 / 違法コピー数の算出)

司法試験予備校事件
実際に検証していないPCも侵害行為があったと推認

各コンピュータの使用態様は、本件検証の対象とされた136台と対象とされなかった83台との間で相違がないものと解するのが合理的であるから、校舎に存在した219台の全コンピュータに係る侵害行為によって得た被告の利益額は、上記136台分の利益額に136分の219を乗じた額と推認するのが相当である。

コンピュータスクール事件
削除の痕跡がなくても使用状況から違法コピーがあったと推察

1. PCから違法コピーが削除されていてもPC内にその痕跡が残っていたPC
2. PCに例え違法コピーの痕跡がなくとも、使用状況等から、違法コピーがインストールされたと推察されるPC全部

両事件とも裁判前に、裁判官が証拠保全手続を実施



民事訴訟法234条

裁判所は、あらかじめ証拠調べをしておかなければその証拠を使用することが困難となる事情があると認めるときは、申立てにより、この章の規定に従い、証拠調べをすることができる

6. 気をつけたい“誤解”と“落とし穴”

～漫然と放置と判断されないために～

- 管理者がいるから大丈夫
- 業者に任せているから大丈夫
- 部門毎に管理しているから大丈夫
- 納入先のコンプライアンス条件に抵触

【誤解例 1】 管理者がいるから大丈夫

性善説で捉えてはいけない。

- 定期的に報告をさせているか？
- その報告内容が正しいと言えるか？
- 定期的にレビューさせているか？
- 定期的に外部監査を受けているか？

【誤解例 2】 業者に任せているから大丈夫

業者が正しいとは言えない場合もある

- 仕様通りか検収できているか？（例）
 - ✓ 仕様のないソフトウェアがインストールされている
 - ✓ プレインストール版を発注したはずが製品版が納品されていた
 - ✓ 納品物だけでは分からなかったが、権利を侵害した方法でキッティングが行われていた

【誤解例 3】 部門毎に管理しているから大丈夫

一元管理でなければリスクは高まる

- 全社的に責任をもつ部門が不在となり、管理状態にムラができる
- 性善説的な管理に陥りやすい
- 部門間での人事異動やパソコン移管の際に、台帳への記載漏れ等が発生しやすい

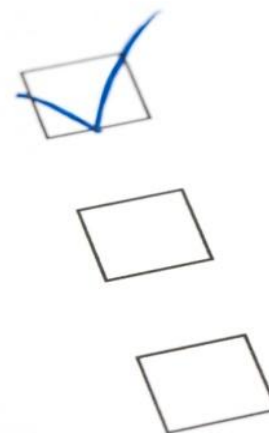
【落とし穴】 納入先のコンプライアンス条件に抵触

- 多くの企業で、コンプライアンスの一環として『CSR調達』を実施しガイドラインを制定しているが、人権・環境等とともに“知財保護”にも言及されている。
 - ✓（例） サプライチェーンCSR推進ガイドブック（JEITA）
- 他にも
 - ✓カタログを制作会社に発注したが、その下請けのデザイナーが違法コピーを利用していた
 - ✓マーケティング資料を海外の企業に委託したが、違法コピーを利用して制作されていた

<違法コピー予防のための管理>

4つのポイント

1. 基本台帳（管理台帳）が存在すること
2. 台帳の情報を更新するルールが存在すること
3. ルールが遵守されていることが検証されていること
4. 「不一致」が見つかった場合に適法な手段により是正されること



ソフトウェアライセンス管理 のTips

2012年11月8日

BSA | The Software Alliance

PR/マーケティング担当 片岡 伸吉

7. ソフトウェアライセンス管理のTips

- ライセンス管理概念の理解
- ライセンス管理の原則
- 管理方法と購入方法の整合性
- 基本的デスクトップ型ソフトウェアの特徴
- デスクトップ型ソフトウェアの管理パターンと特徴
- 管理パターン1と特徴
- 管理パターン2と特徴

ライセンス管理概念の理解

ソフトウェア資産管理

方針・規定	購買管理
体制・所有	導入管理
導入・証明	運用管理
認識・理解	廃棄管理
環境構築	

フロー管理＝損益計算書

高度な管理体制が必要

ライセンス点検・確認 (棚卸・監査)

管理部門による実施が望ましい
第3者による実施が望ましい

ストック管理＝貸借対象表

一時的なプロジェクト的作業で
可能

ライセンス管理の原則

Tips: 保有数の把握と利用数の測定

1. 利用数を測定できる環境構築
2. ライセンス保有数を特定
3. 利用数と保有ライセンスの突合
4. 客観的な検査＝監査

管理方法と購入方法の整合性

Tips: 管理方法に合わせて購入方法を検討

1. ソフトウェアはIT関連資産
・・・ITを活用した管理が合理的
2. 組織規模・内容等に応じた管理方法の確立
3. 管理方法に応じた調達方法が管理効率を向上

基本的デスクトップ型ソフトウェアの特徴

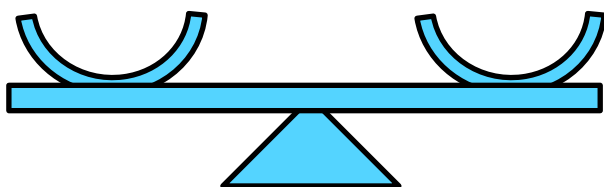
Tips: 大きな概念区分の理解

1. 使用許諾条件の特徴
2. ライセンス証明部材は何か
3. デスクトップ型とそれ以外

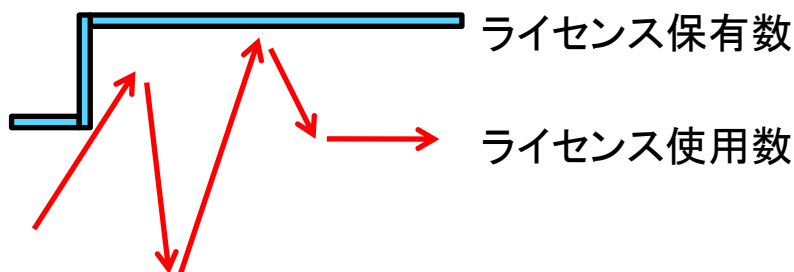
ライセンス概念	ライセンス特徴	ポイント	証明部材
パッケージ製品	使用許諾書	箱ごとの管理	箱等
ライセンス製品	使用許諾書+α	ライセンス数量管理	契約書、履歴等
バンドル製品	バンドル元と一体管理	バンドル元管理	バンドル元製品・購入履歴等
OEM製品	ブランドの相違と使用条件の相違	OEM製品管理	OEM製品・購入履歴等
期間契約	一定期間ライセンス	契約期間管理	申込書・契約書等

デスクトップ型ソフトウェアの管理パターンと特徴

パターン1



パターン2



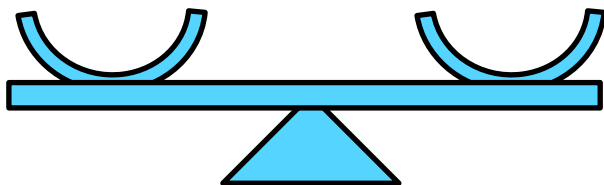
* パターン1では、高度な管理体制が求められる

- 日本でよく議論される概念
- 現場管理
- 購入コストの意識
- 社員の異動・派遣社員の移動毎にチェック
- アップグレード・PC移動毎にチェック

- 海外でよく議論される概念
- IT部門・部門管理者毎の集中管理
- 管理コスト削減の意識
- チェックタイミング・チェック方法

管理パターン1と特徴

パターン1

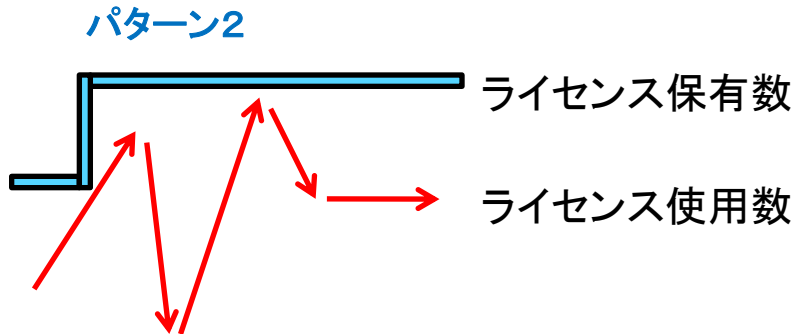


- 社員数変動要因毎にチェックルーチンが必要
- 社員の新規採用・退職
- 派遣社員の増加・減少
- 異動者のチェック
- PC管理者変更時にはリフレッシュ

新規採用・異動・職責変更 チェックリスト参考

基本情報	ネットワーク	ソフトウェア
<input type="checkbox"/> 役職	<input type="checkbox"/> PC ID	<input type="checkbox"/> MS Office
<input type="checkbox"/> 職場場所	<input type="checkbox"/> ネットワークID	<input type="checkbox"/> ACCESS (Office Option)
<input type="checkbox"/> 組織	<input type="checkbox"/> メールアドレス	<input type="checkbox"/> Just ATOK
<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> メールソフト	<input type="checkbox"/> Adobe Acrobat Pro
<input type="checkbox"/> 机	<input type="checkbox"/> VPNアカウント	<input type="checkbox"/> Autodesk AutoCAD LT
<input type="checkbox"/> ID	<input type="checkbox"/> SAPアカウント	<input type="checkbox"/> Autodesk AutoCAD
<input type="checkbox"/> オフィス鍵	<input type="checkbox"/> Oracleアカウント	<input type="checkbox"/> Security soft
<input type="checkbox"/> PC	<input type="checkbox"/> 各種データベースアカウント	<input type="checkbox"/> Backup soft

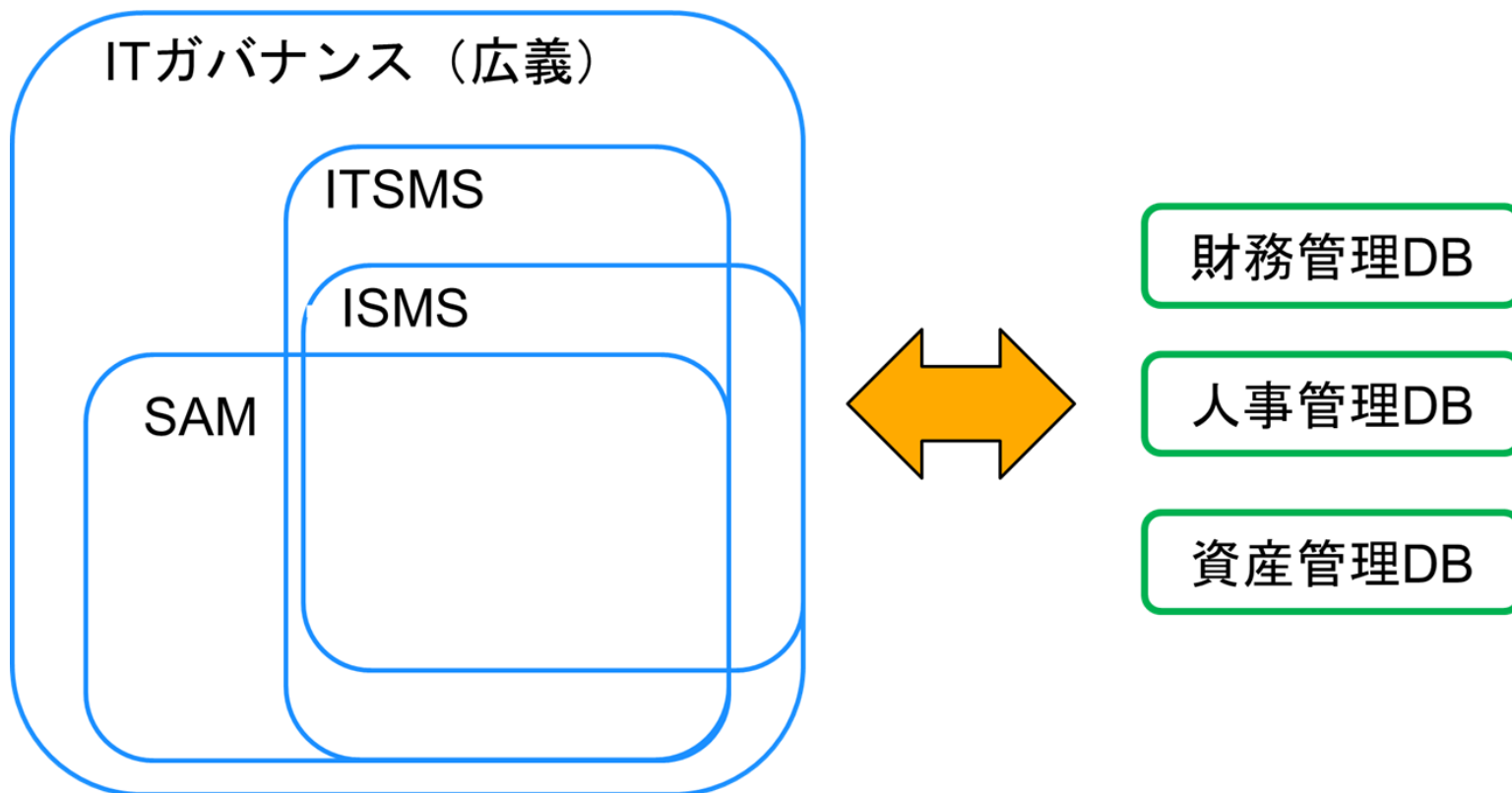
管理パターン2と特徴



- チェックタイミング
- 対象ソフトウェアの決定
- 対象企業範囲(子会社)
- ゾーン分け管理

- ✓ **ライセンス保有数の確認**
各社ライセンスプログラムは、この作業の軽減を目標に開発
- ✓ **ライセンス使用数の測定**
管理担当者による情報変動管理情報と定期的な測定

ソフトウェア資産管理の概念的 위치づけ



bsa.org

BSA

Thank you.